阿武隈川　三春ダム（平成9年度完成）の効果

■三春ダムによる効果

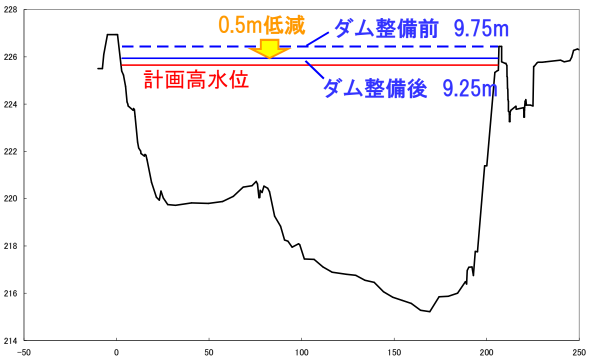
・阿久津水位観測所で計画高水位を上回る出水となり、破堤等の重大な被害が想定された。
・降雨予測結果及び洪水調節容量を勘案し、計画最大放流量100m³/sに対し、全量カットを行った。
・通常の操作であれば約0.35mの水位低減となるところを、全量カットにより、約0.5mの水位低減が図られた。

ダムによる洪水調節効果

阿久津水位観測所
ダム整備前　9.75m
ダム整備後　9.25m
⇒約0.5mの水位低減 ※

※数値等は速報値です。
今後の精査等により変更をする場合があります。

阿久津地点断面図

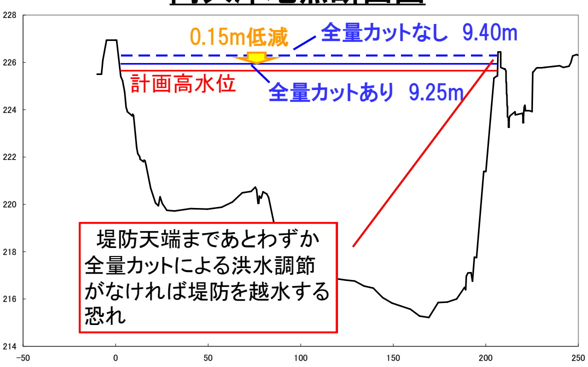


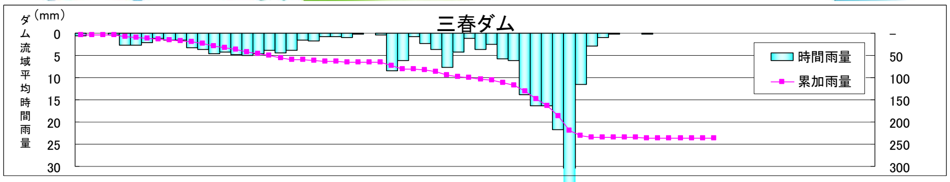
全量カットによる洪水調節効果

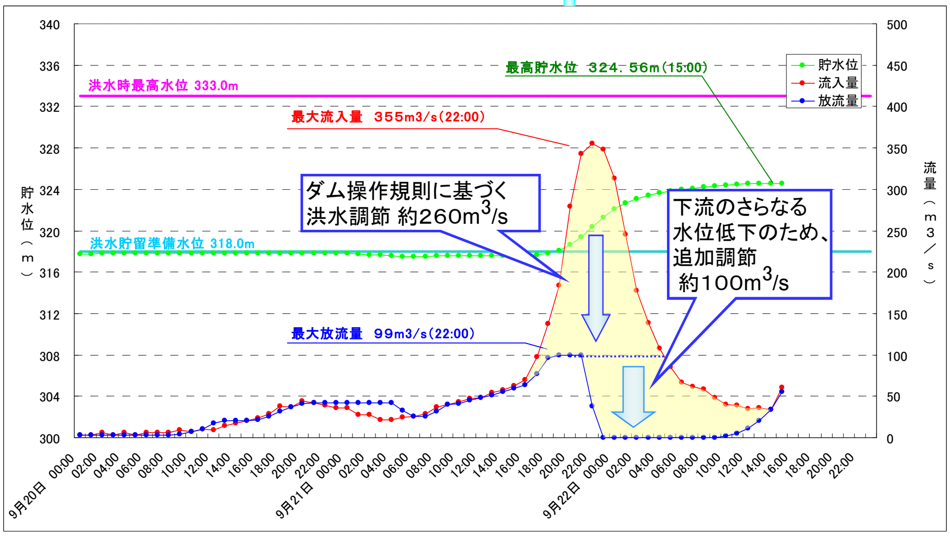
阿久津水位観測所
全量カットなし　9.40m
全量カットあり　9.25m
⇒約0.15mの水位低減 ※

※数値等は速報値です。
今後の精査等により変更をする場合があります。

阿久津地点断面図







※記載の数値は速報値であり、後日修正する可能性がある

阿武隈川 「平成の大改修」の効果

■治水対策の効果

福島県中心部を流れる阿武隈川は、戦後最大規模の昭和61位8月洪水以降も、平成10年8月洪水や平成14年洪水により、甚大な被害を受けている。
このため、水害に対して安全な地域とするため、ハード・ソフト対策の連携による抜本的な治水対策を、短期間に集中的に行う阿武隈川「平成の大改修」等を実施した。

阿武隈川上流における治水対策の効果

	〔H10〕		〔H23〕※	
浸水面積（ha）：	1,846	⇒	約320	▲約1,530ha（約83%）
浸水戸数（戸）：	1,917	⇒	約740	▲約1,180戸（約62%）

※数値等は速報値です。
今後の精査等により変更をする場合があります。

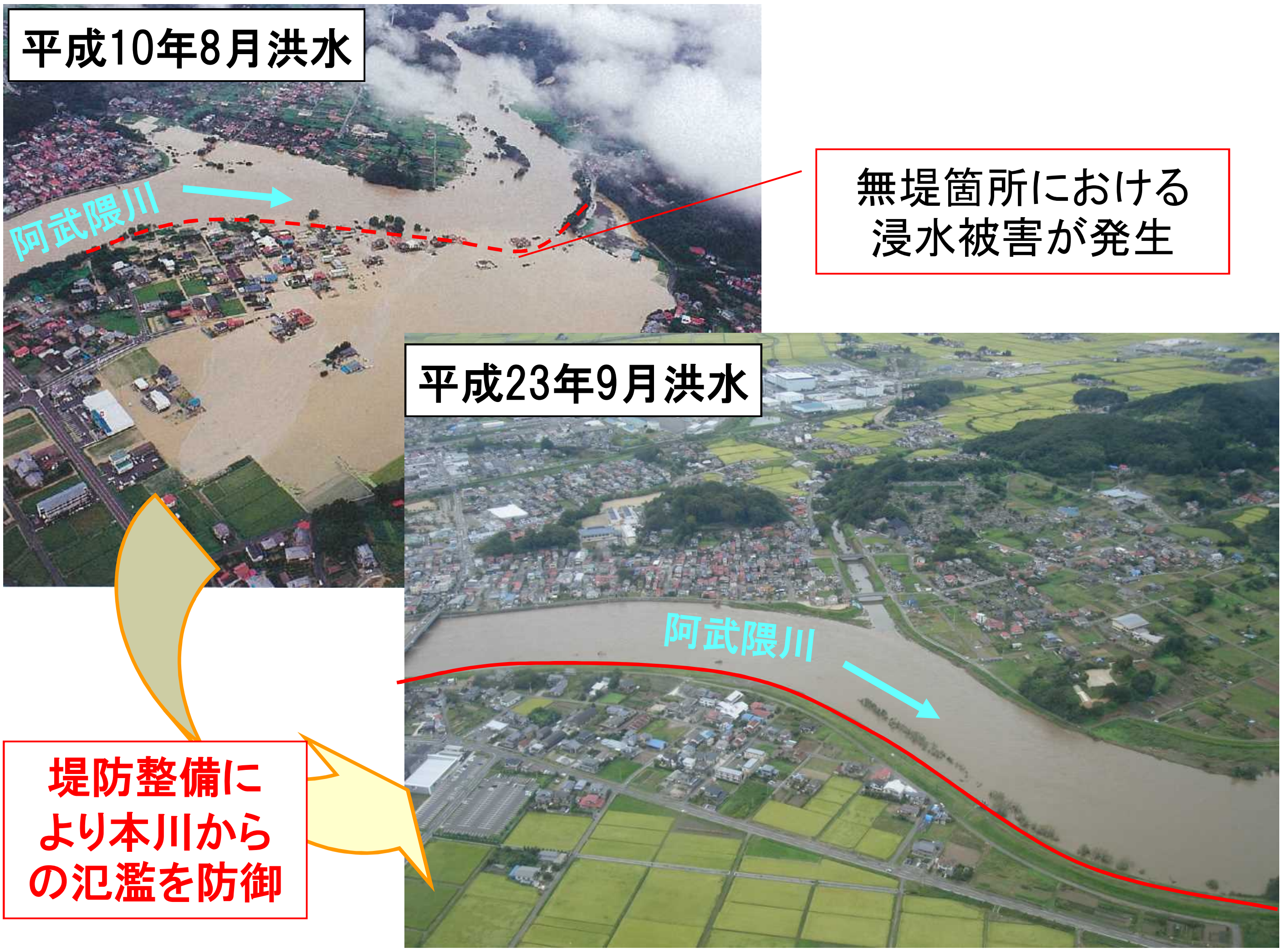
＜本宮市本宮右岸地区＞

無堤箇所における浸水被害が発生

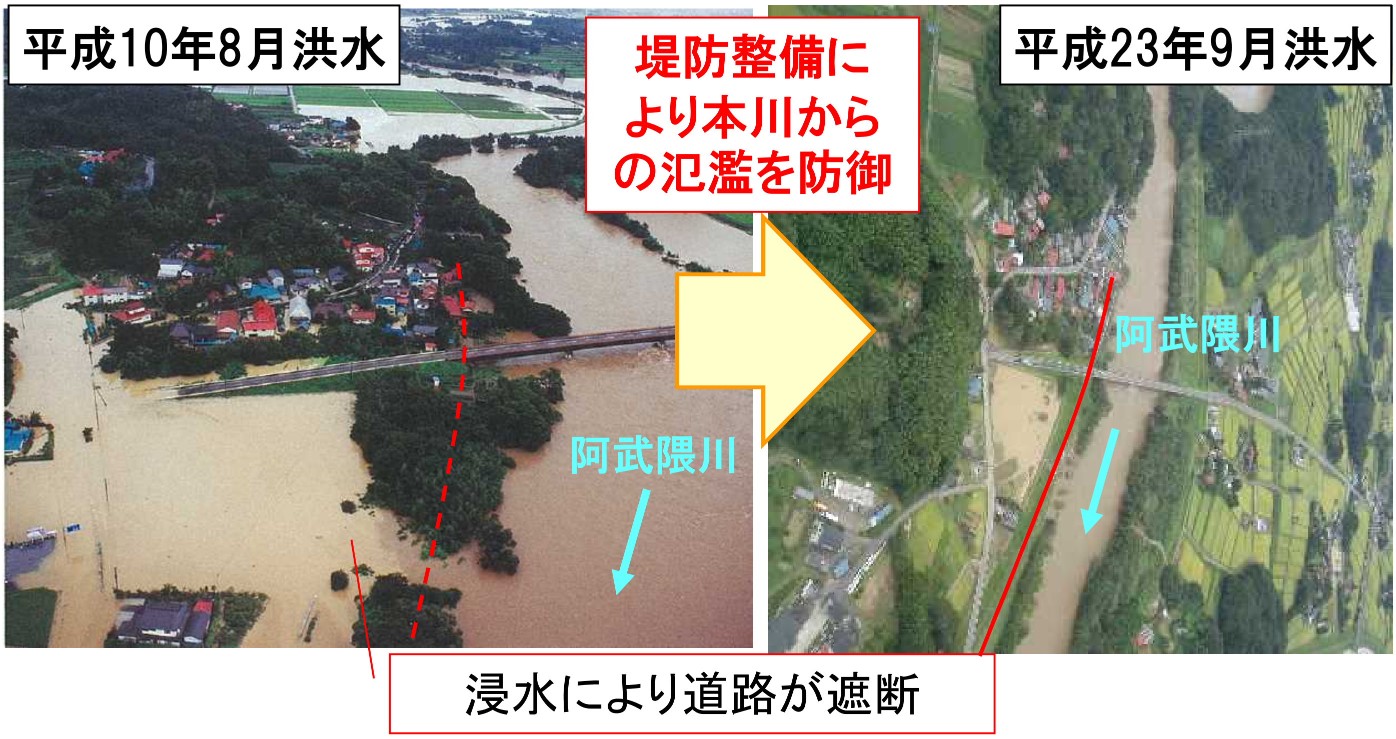
堤防整備により本川からの氾濫を防御

阿武隈川 「平成の大改修」の効果

＜本宮市高木地区＞

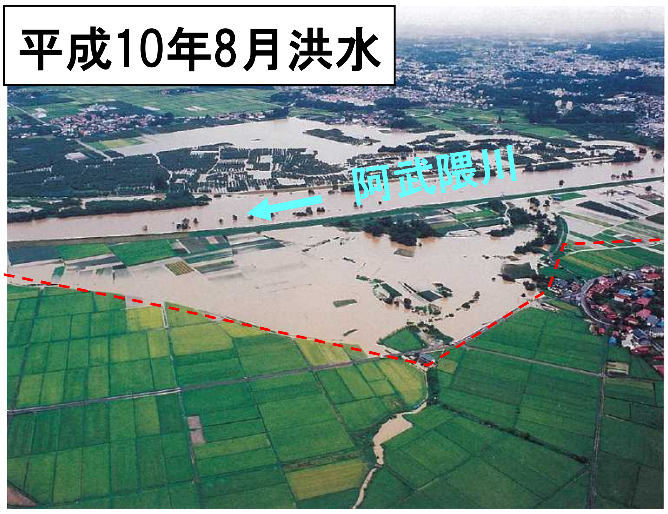


＜郡山市鬼生田地区＞

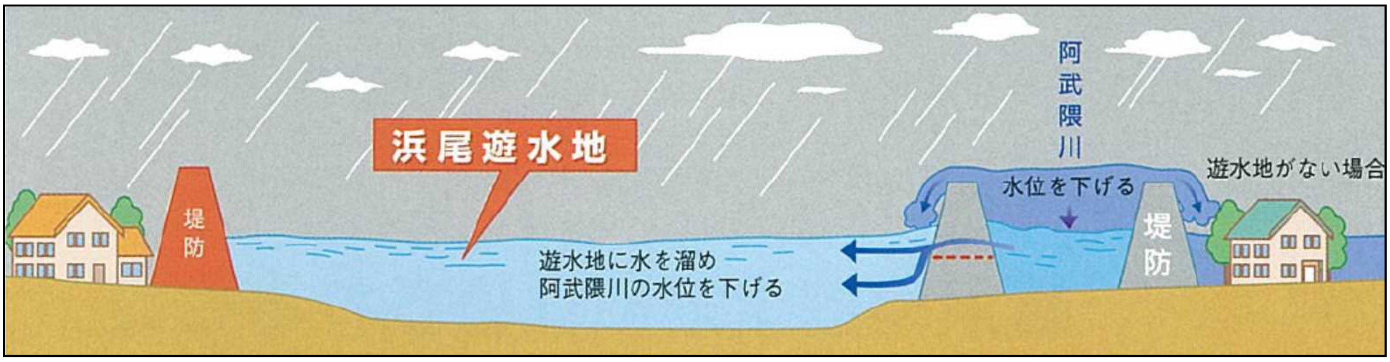


阿武隈川　浜尾遊水地（平成16年度完成）の効果

＜須賀川市浜尾地区＞



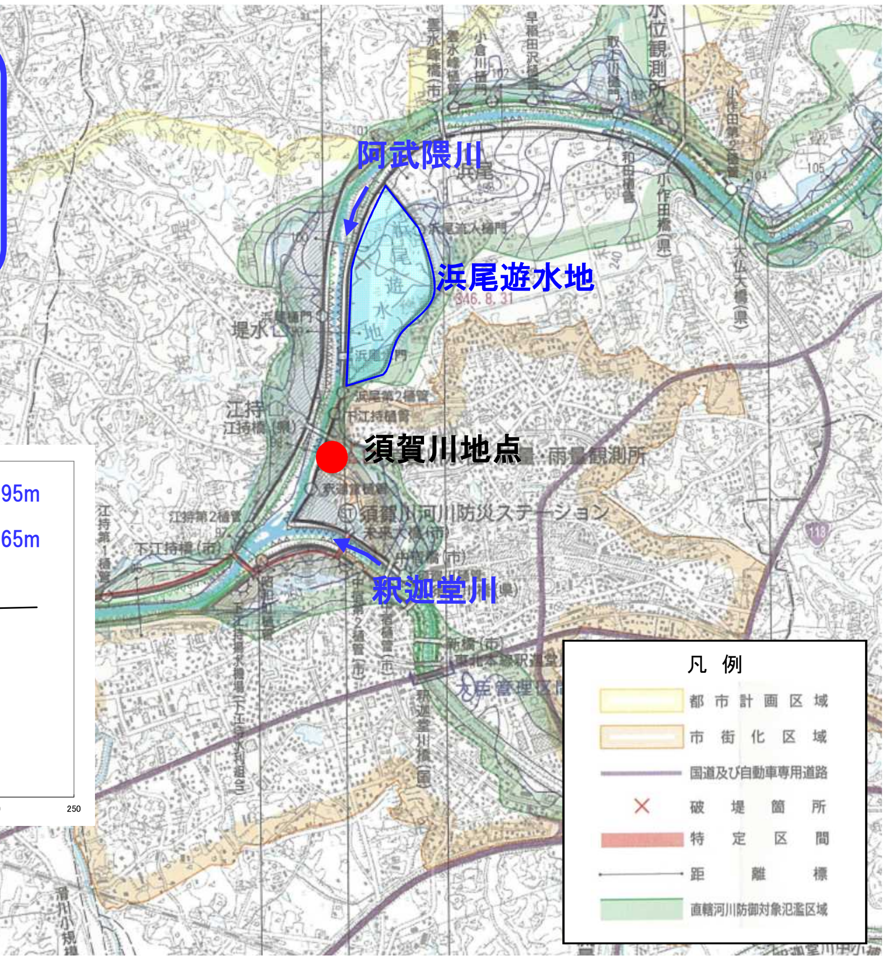
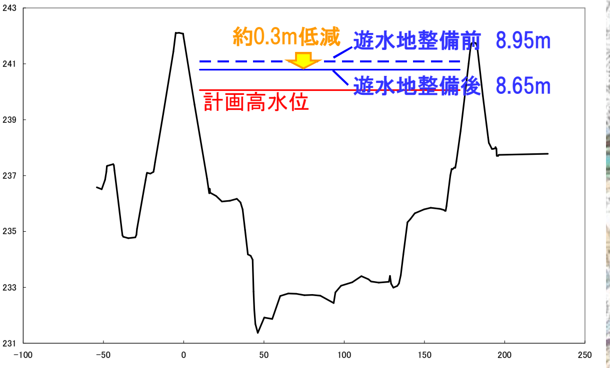
浜尾遊水地イメージ



遊水地による効果

須賀川水位観測所
遊水地整備前　8.95m
遊水地整備後　8.65m
⇒ 約0.3mの水位低減※

※数値等は速報値です。
今後の精査等により変更をする場合があります。



須賀川地点断面図